

2 学年進路説明会の様子

2月5日(木)には、福山明王台高校、岡山龍谷高校から先生をお招きし、進路説明会を実施しました。生徒と保護者がそろって進路の話を聴くことができました。



高校の先生から聴いた話は、「当たり前」のことを大切にしてほしいということでした。

「当たり前」とは、挨拶、学習態度、服装。どれも社会に出るときに大切なマナーです。

会社の採用を例にあげて話されました。挨拶ができる人を優先的に採用するそうです。会社が、同じ給料を払って雇うなら、態度やマナーがよい人を雇いたくなるでしょう。



高校は、「目標が似た」人が志望し、受験を経て集うところです。中学校のように、住所によって決定するのではなく、あくまでも同じ志をもつ生徒が集まるのです。その中でも部活動は同じ目標をもった生徒が集まりやすいといわれていました。

「その服装で受験に行けますか？」という厳しいことも言われました。人は見た目ではないですが、服装には、その人の心がけがあらわれるものです。服装を整えることは、相手に不快感を与えないマナーなのです。



3学年主任の中下先生からは、今年の受験が厳しいものであったことを聞きました。成績によって、受験に制限があったり、受験料が違う学校もあったりします。

通知表の点数がそのまま受験に反映されるのです。

学習やスポーツを頑張っていくことはもちろん大切です。

しかし、同じくらい大切なことは、家族でしっかり進路について話をすること。学校から配付されたものが確実に保護者に届くこと。期限がある提出物は必ず出すこと。

受験にはこんな力も求められます。



今からでも遅くありません。今一度、自分は何がしたいのか。そのために何から努力を始めるのかを考え、一年後、納得いく進路実現のために、日々の授業から大切にしていきたいと思います。